

欠片の復元力

～三聖病院の余材から～

甲南大学では毎年、国内外で活躍している作家による展覧会を行っています。展覧会の企画・運営は、博物館実習生が中心となって取り組んでいます。今年は、取り壊される建築物からウクレレをつくる「建築物ウクレレ化保存計画」、取り壊される建築の「お見送り」、今では使われなくなった燃料「亜炭」について聞き取り調査を行う「亜炭香古学」など、ユニークなアートプロジェクトで活躍する美術家・伊達伸明氏による展覧会を開催します。

関連イベント

トークイベント「空間記憶を読む」

9月25日(日) 15:00～17:00

ゲスト 伊達伸明(出展作家)

三脇康生(仁愛大学大学院臨床コース教授/精神科医/美術批評家)

聞き手 服部 正(甲南大学文学部 准教授)

会場 甲南大学5号館511教室(ギャラリー横)

聴講無料・予約不要



展示監修 伊達伸明(だて・のぶあき)



三聖病院

1964年 大阪生まれ

1991年 京都市立芸術大学美術学部大学院工芸科修了

学生の頃より楽器、音に関わる作品制作を始め、2000年より取り壊される建物の部材の一部を用いてウクレレを制作し、肌感覚から建物を保存しようとする「建築物ウクレレ化保存計画」をスタート。現在までに寺院、学校、一般住宅など68(8月現在)の物件の建物をウクレレ化。

各地での個展やトーク・ワークショップなどの他、水戸芸術館(2002年)、兵庫県立美術館(2005年)、国立民族学博物館(2005年)、大阪市近代美術館心斎橋展示室(2006年)、大阪歴史博物館(2011年)、アルコミュージアム(ソウル/2011年)などで建築物ウクレレを展示している。

ウクレレ以外では「未来への素振り」(小山田徹との共同展示/京都芸術センター/2010年)、「池上遊覧鉄道」(岡田毅志との共同制作/總社市池上邸/2011年)、「一弦さん」(楽器は語る/国立歴史民俗博物館/2012年)、「亜炭香古学」(仙台市内/2012年)などのアートプロジェクトを行う。

会場

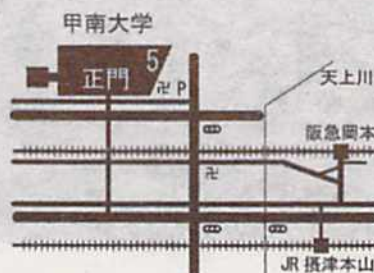
甲南大学ギャラリー・パンセ(甲南大学5号館1階)

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

阪急神戸線岡本駅より西へ徒歩10分、

JR神戸線湊津山駅北口より北西へ徒歩12分

※ 駐車場はございませんので、公共の交通機関をご利用ください。



Galerie
ギャラリー・パンセ
Pensee

<お問い合わせ先>

078-435-2572 (担当教員: 服部)

078-435-2675 (文学部事務室)